

函館市の財政状況について

1 これまでの収支見通し

「今後の財政見通し（2022～2026）」（令和4年3月公表）から抜粋

（単位：百万円）

	R 2 決算	R 3 2 月 補正後	R 4 当初予算	R 5 見通し	R 6 見通し	R 7 見通し	R 8 見通し
歳入	166, 148	147, 221	137, 430	136, 636	134, 350	135, 499	139, 443
歳出	164, 128	147, 221	137, 430	136, 588	134, 318	135, 425	139, 429
推計収支	2, 020	0	0	48	32	74	14

2 財政の現状と課題、今後の見通し

物価高騰等に伴う資材価格や労務単価の上昇による負担増など、令和4年の今後の財政見通し公表時には想定し得なかった財政需要が生じており、市税の歳入全体に占める割合が少なく、地方交付税などに依存している函館市にとって厳しい状況にある。

今後については、物価高騰等による影響の長期化、高齢化の進展等に伴う社会保障関係経費などの増加に加え、人口減少に伴う市税の減少や令和7年に実施予定の国勢調査の影響による普通交付税の段階的な減少が想定されるなど、一段と厳しさが増していくと予測されている。

なお、現在、新たな今後の財政見通しの推計作業が行われており、本年中を目途に公表される予定であることから、第3回検討会議において資料として提示できる見込み。